

今治市で、ハタラク。

<https://www.barijob.jp/>



今治市で働く、今治で暮らす。
今治企業情報サイト
ハタラク

- 今治の産業
- 今治の企業
- 今治の観光とは
- 今治のヒト
- 今治で働くという選択
- バライさんの企業訪問

今治企業情報サイト「ハタラク」とは？
「ハタラク」は、今治の産業や企業を紹介しているウェブサイトです。単なる企業紹介に留まらず、今治にかかわっている著名人にお話を伺ったり、今治で活躍している人へのインタビューを掲載しています。また今治のご当地キャラのバライさんが、企業を訪問して各企業を紹介するコーナーがあったり、今治でいきいき働く若い人たちの取材をしています。

Webでインタビュー動画など配信中!!

ハタラク



今治市産業紹介 2024
Imabari Industry Introduce



今治地区産業雇用促進協議会

〒794-0042
愛媛県今治市旭町2丁目3番地20
今治商工会議所内

TEL (0898)23-3939[直通]
FAX (0898)31-6667

ごあいさつ



今治地区産業雇用促進協議会名誉会長
今治市長
徳永 繁樹



今治地区産業雇用促進協議会会長
今治商工会議所会頭
檜垣 幸人

今治市は平成17年1月に12市町村の合併により、瀬戸内海圏域の発展を担う、県下第2位、四国第5位の人口を誇る都市になりました。古くから海上交通の要衝として栄え、四国で最初の開港場となるなど、港を中心に商業都市として発展してきました。

現在では、海運・造船業ならびにタオル・縫製品などの繊維産業をはじめ、エネルギー、食品など国内はもとより、海外においても果敢に事業活動を展開している企業や、伝統工芸の桜井漆器、地域資源を活用した石材、瓦など歴史と伝統のある個性あふれる地場産業が数多く点在しており、四国一の製造品出荷額を誇る「ものづくりのまち」として、地域経済の振興に大きな役割を果たしております。

特に、120年の歴史を刻み続けてきたタオル製造業は国内タオルの約6割を生産するなど、品質・生産量ともに日本一を誇っております。市内には、染色やプリント、刺繍、縫製などを含め200近くもの工場があり、市民生活に密着した身近な産業として定着しております。

海事産業においては、海運・造船・船舶用機器など船にまつわる企業が日本一の海事クラスターとして発展するとともに、西日本唯一の国際海事展「バリシップ」を隔年で開催しております。また、造船・船用各社の若手技能工の育成を目的とした「今治地域造船技術センター」の発足やプロフェッショナル人材育成のため「機械造船科」を市内高等学校に創設するなど、海事都市今治の今後を担う人材の育成も進めております。

「ものづくり」に限らず、サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」やJリーグで活躍する地域密着型プロスポーツ等の観光資源を活用した新しい観光産業も地域経済に大きく関わっており、「産業の活性化は今治市の礎である。」との認識のもと、産学官が緊密に連携をとりながら、地域産業の振興や雇用の拡大に向けた事業を積極的に展開しております。



市の木「くすのき」



市章



市の花「つつじ」

右下のグリーンが瀬戸内海の自然を、その横を流れるブルーが来島海峡とその上を走っている瀬戸内しまなみ海道を表し、包まれているオレンジ色の丸が今治市のイニシャル「i」の雰囲気と、自然の中で力強く光っているイメージを表しています。





今治市の基本データ

今治ってこんなところ

今治市は愛媛県の北東部に位置し、陸地部と島しょ部からなり、瀬戸内しまなみ海道で広島県尾道市と結ばれています。また、緑豊かな山間地域を背景に、中心市街地の位置する平野部から世界有数の多島美を誇る青い海岸まで、変化に富んだ地勢となっています。



市勢概要 ～数字で見る今治市～

人口	面積	世帯数	人口密度
 148,925人 <small>令和6年3月31日 住民基本台帳</small>	 419.21km ² <small>令和6年4月1日 国土地理院調</small>	 76,494世帯 <small>令和6年3月31日 住民基本台帳</small>	 361.8人(1km ² あたり) <small>令和2年 国勢調査</small>

事業所数：7,640事業所

卸売業、小売業  1,969事業所	宿泊業、飲食サービス業  925事業所	製造業  883事業所
--	--	--

従業者数：67,050人

製造業  15,278人	卸売業・小売業  13,336人	医療・福祉  10,569人
---	---	---

売上高

製造業  745,892百万円	卸売業・小売業  611,056百万円	医療・福祉  71,191百万円
--	--	---

付加価値額：274,479百万円

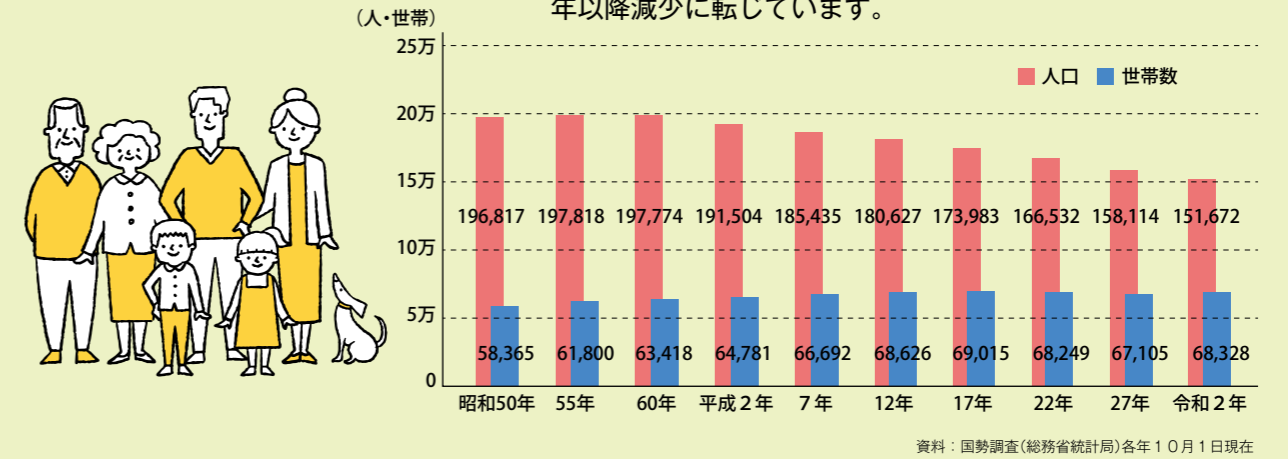
製造業  106,954百万円	卸売業・小売業  49,511百万円	医療・福祉  40,455百万円
--	---	---

資料／経済センサス活動調査(R3)

今治市の移り変わり

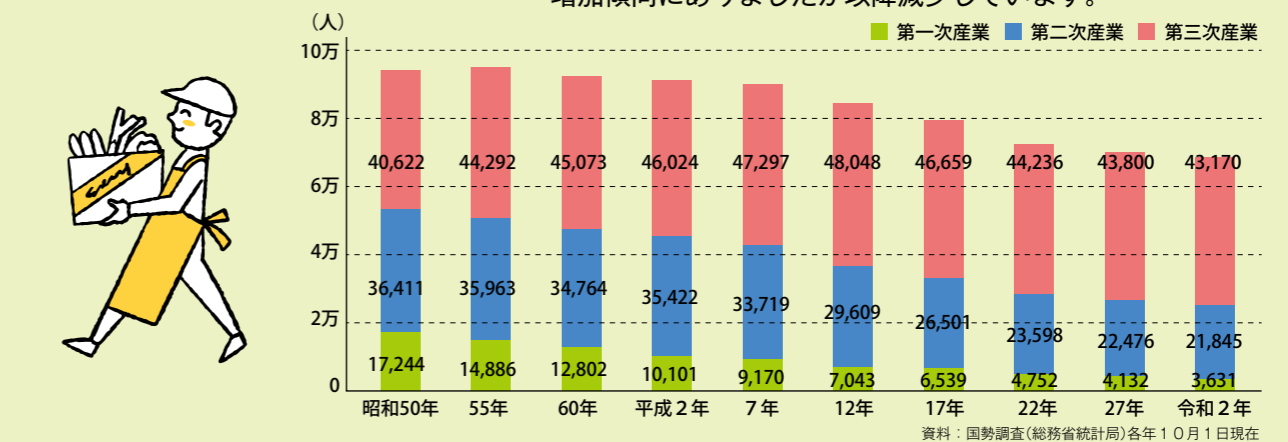
人口・世帯数の推移

今治市の人口は昭和55年をピークに減少傾向にあります。世帯数は昭和50年以降増加傾向にありましたが、平成22年以降減少に転じています。



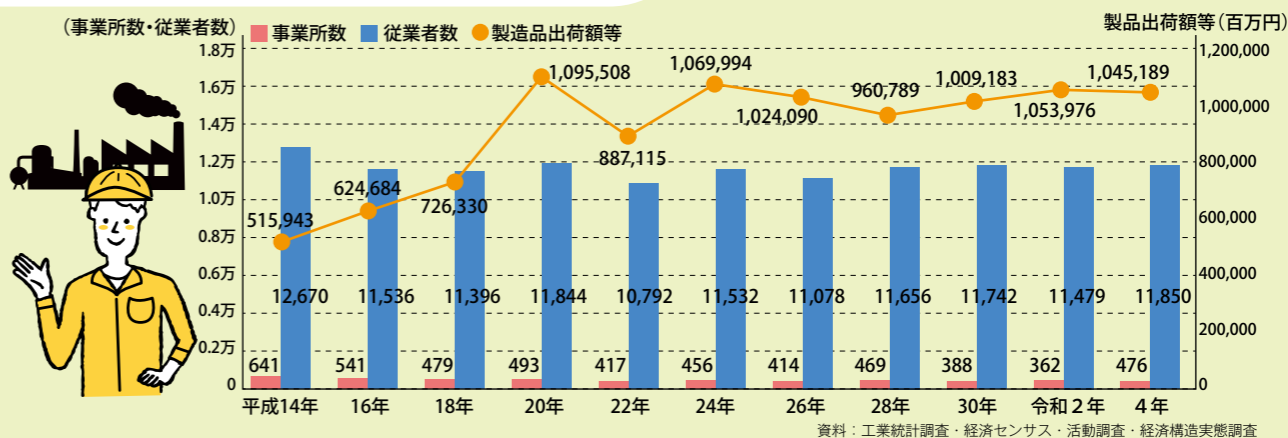
産業別就業人口の推移

今治市の産業別就業人口は昭和55年をピークに大幅に減少しています。第三次産業は昭和50年から平成12年まで増加傾向にありましたが以降減少しています。



製造品出荷額等と製造業事業所数・従業者数の推移

事業所数と従業者数は増減を繰り返していますが、製造品出荷額等は造船やタオルなどの影響で平成20年に大幅に増加しています。



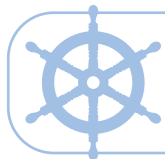
日本最大の海事都市「いまばり」



今治の造船業のココがすごい！

造船集積日本一！不動の造船王国

今治市は、日本最大の、そして世界でも有数の海事都市です。波止浜湾が、非常に波穏やかな天然の良港であることから、その歴史は、室町時代までさかのぼり、潮まちで寄港した船舶の修繕を中心に発達し、明治35年には本格的なドックを備えた会社が創業しました。過去2度にわたる造船不況の荒波を乗り越え、現在では造船長屋と称されるほど造船所が集積しています。

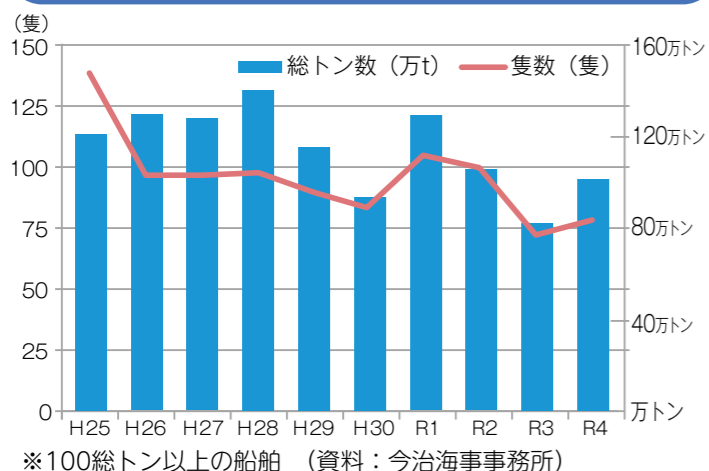


造船所数 **14社**

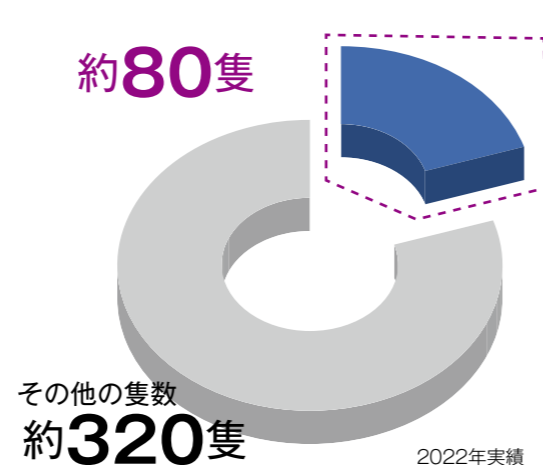


造船業は、全国一の集積を誇る14事業所を有しており、建造隻数では国内の20%を占めています。また、市内に本社や拠点を置いている造船会社のグループ全体では、日本全体の30%を超える船舶を建造するなど、建造隻数・建造量ともに不動の造船王国の地位を築いています。

今治市の造船竣工量の推移



今治に拠点のある造船会社の新造船竣工量



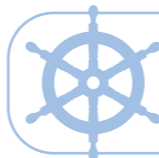
船の完成に不可欠、船用工業

船が完成するためには、エンジン・プロペラ・舵などの船用設備が必要です。それらの電気・機装工事、船舶用機器等の開発、製造、販売などを手がける産業を船用工業といいます。今治市には多くの船用関連の事業所があり、様々な機器を開発・製造しています。最近では、ハイテク技術を駆使した船舶運航管理の通信システムが業界の注目を集めています。



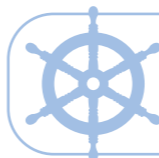
海運王国、世界に通じる今治船主

今治市には海運に従事する企業が数多く存在しています。外航海運の会社は、約70社あり、その保有隻数は約1,100隻ともいわれ、日本の海運企業が運航する外航船の実に30%を占めています。また、内航海運においては、市内に約180社の事業所があり、その船腹量は県内シェアの50%、国内の約5%を占めています。



外航海運会社数

約**70社**



内航海運会社数

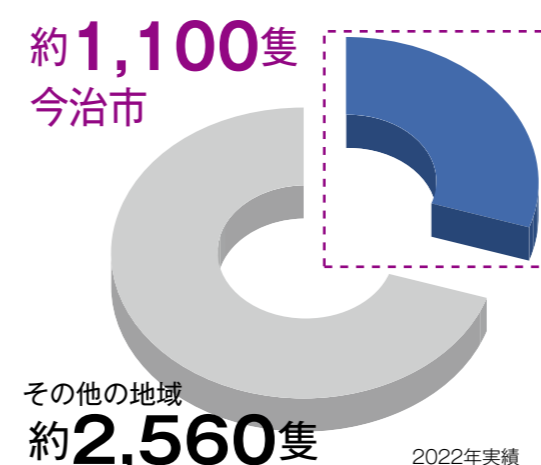
約**180社**



今治の外航船主は日本の約1/2を、そして内航商船隊は国内の約5%を所有しています。

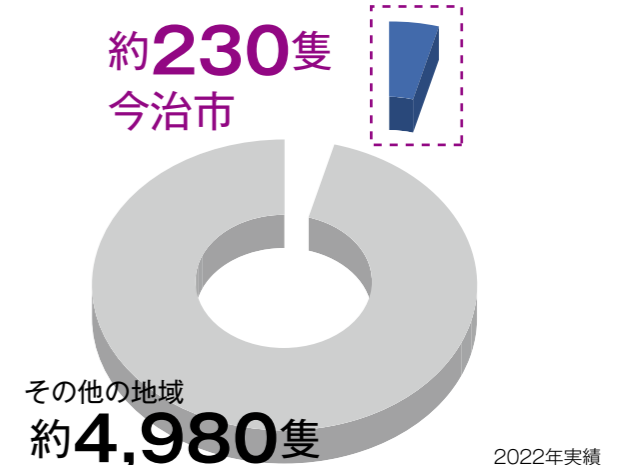
国内の外航船所有隻数

約**1,100隻**
今治市



国内の内航船所有隻数

約**230隻**
今治市



世界のブランド「今治タオル」 今治市は、日本最大規模のタオル産地

今治市は日本最大規模のタオル産地といわれています。今治地域のタオル製造業者約80社が加盟する「今治タオル工業組合」があります。現在は産地ブランドと合わせて、各メーカーが個社ブランドを立ち上げ新商品を積極的に開発し、国内産タオルの約6割を生産しています。また、メーカー各社のオリジナルブランドが開発されるとともに、海外に向けたPR活動も展開し、ますます今治タオルの知名度アップを図っています。



「今治タオル」ブランドの確立



今治市では元来からの高品質な製品作りを続けていることや、今治のタオルメーカーがニューヨークホームテキスタイルショーでグランプリを連続で受賞するなど海外でも注目されたことから、中小企業庁の「JAPANブランド育成支援事業」に指定され、今治タオルとしてブランドを確立する取り組みを行いました。著名なアートディレクター佐藤可士和氏をブランディングプロジェクト・クリエイティブディレクターとして起用し、大きな成果を上げました。

テクスポート今治(今治タオル 本店・今治タオルLAB)

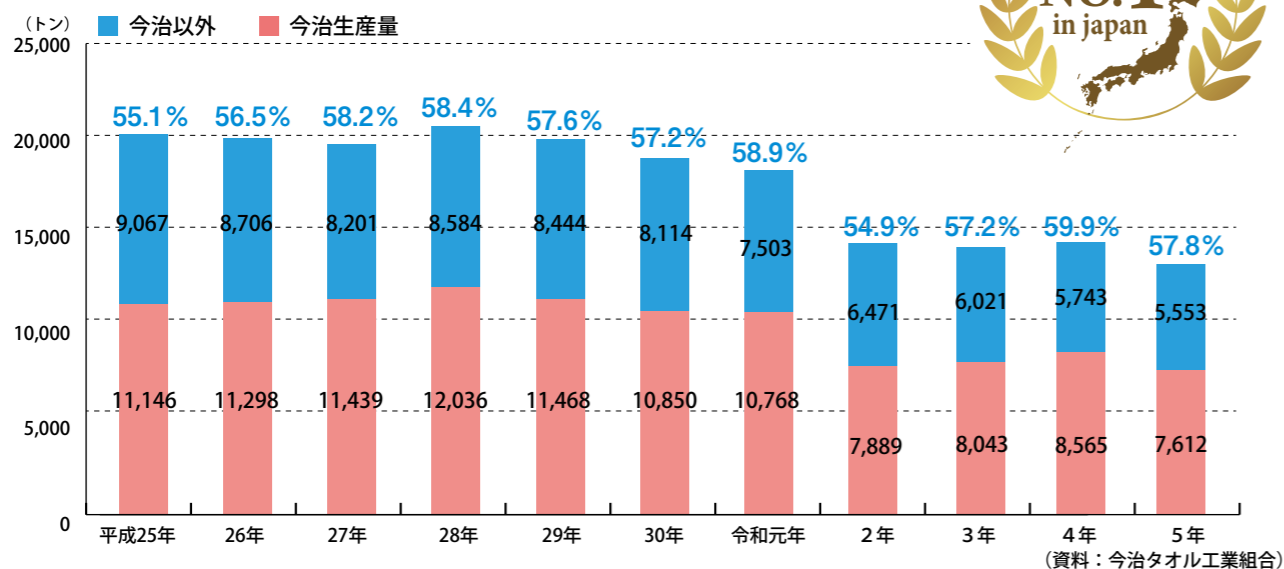
日本一を誇る今治タオルの情報発信基地。施設内には今治タオルブランド商品のみを販売するオフィシャルショップ「今治タオル 本店」や今治タオルの体感スペース「今治タオルLAB」があります。



「今治タオルファクトリー」がコンセプトで、主軸ラインナップである「白いタオル」を筆頭に、バスタオルやフェイスタオル、ウォッシュタオル、タオルマフラーなど、タオルメーカー約30社による今治タオルブランドの商品約400種を2万点以上取り揃えています。「今治タオルLAB」では、吸水性の高さを実感できる検査体験「5秒ルール」や、タオルについて豊富な知識を持つ「タオルソムリエ」の資格試験の疑似体験、手織りの織機を使用したタオル織りなどが体験できます。

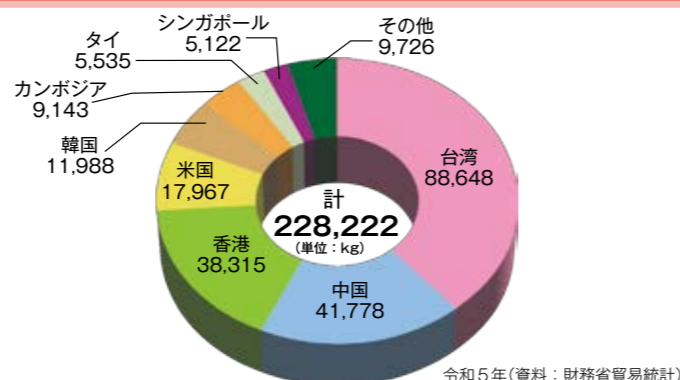


タオルの全国生産量と今治のシェア



全国輸出タオル国別数量

価格の安い外国産タオルに席巻されたこともありますが、現在は綿本来が持つ柔らかさや吸水性を最大限に引き出す製法の良さが見直され、巻き返し始めているとか。そして、国産タオルの輸出も増えています。その品質は世界から評価されており、特に韓国、台湾で大きく伸びています。



愛媛県繊維染色工業組合



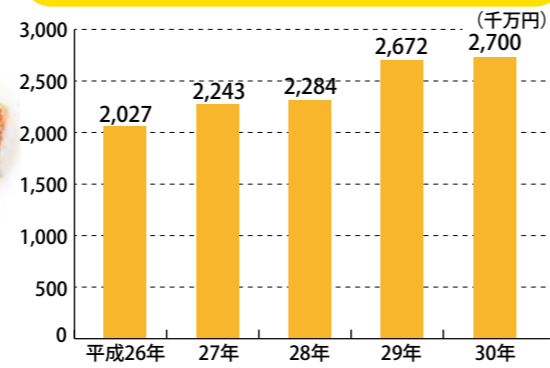
今治の染色技術を紹介する展覧会「IMABARI Color Show」

染色工業は、先染め先晒しの技術をはじめとする様々な技術で吸水性や肌触りの良い高い品質の今治タオルの生産に貢献しています。

今治で作られている食品



食料品出荷額



今治市には、瀬戸内海という恵まれた海で獲れる魚介類を主とした製品を製造する会社、タレなどの調味料や風味のある塩を製造している会社、その他、お菓子やお酒など、さまざまな食品を製造する会社があります。



エネルギー産業

石油精製 国家石油ガス備蓄基地

菊間地域には原油貯蔵タンクやパイプラインを備えた大型の石油精製工場があります。また、国内に3か所ある地下岩盤タンク方式の国家石油備蓄基地のひとつがあります。



工場見学をしている様子



菊間にある石油精製工場



波方にある国家石油ガス備蓄基地

波方地域には国内最大の国家石油ガス備蓄基地が建設され、ガスの安定供給を行っています。



桜井漆器



桜井地域では江戸時代後期に漆器製造の基礎が出来上がり、主要な産業として発展してきました。現在は、伝統の技を活かし、時代のニーズに合わせた製造販売を行っています。



菊間瓦

菊間瓦とは、750年の歴史を持ち美しい光沢が魅力の瓦です。いぶし銀に磨くことから「いぶし瓦」とも呼ばれ、全国各地の住宅はもとより、日本建築を代表する神社仏閣に多数使用されています。菊間瓦は防水性や耐寒性といった機能面でも非常に優れており、日本の気候にあった性質を持ち合わせています。



大島石

瀬戸内海に浮かぶ周囲約50kmの大島の地場産業として、大島石の採石・加工販売があります。約400年の歴史を持つこの石材は、墓石・建築資材などに利用されています。



しまなみ海道、 歴史と自然が共存する瀬戸内の拠点

瀬戸内海にむかって開いたまち、今治。
古来より海の水を得て発展してきました。
海水を堀に引き込んだ今治城。
世界に誇る造船業。
温暖な気候と水にめぐまれて発展したタオル産業。
そして、今治のまちを取り囲むようにしてある
四国霊場の6つの札所。お接待のこころは
今もなお今治の人々に受け継がれています。



エリア 今治陸地部



今治城

藤堂高虎公によってつくられた、堀に海水を引き込んだ全国的にもめずらしい城。城内には、多くの資料が展示されています。城内には約60本のソメイヨシノが植えられ、桜の名所としても人気です。



のまうまハイランド

日本最小の在来馬「野間馬」を見ることが出来る公園。今治の野間地区に生息する日本最小の在来馬である野間馬を保存活用する目的で、野間馬の放牧場や乗馬施設、小動物ふれあい広場などを配置し、楽しく野間馬や小動物とふれあうことができる施設です。



かわら館

750年の伝統を持つ菊間瓦の歴史と文化を紹介しています。館内には珍しい瓦や鬼瓦、各産地の瓦などが展示されており、昔の瓦づくりの工程がわかりやすく紹介されています。



サイクリングと島旅

四国愛媛・今治と広島・尾道を結ぶ全長約70kmの瀬戸内しまなみ海道には、日本で初めての海峡を横断する自転車道（瀬戸内海横断自転車道）があります。

エリア しまなみ海道周辺



大山祇神社

大山祇神を祭神とし、全国の山祇神社、三島神社の総本社。しまなみ海道でも有数の観光スポット。本殿、拜殿、宝篋印塔は重要文化財に指定され、隣接する宝物館には国宝を含む数多くの重要文化財を収蔵しています。



亀老山展望台

標高307.8m、しまなみ海道でも最高の眺望を有する絶景の展望台。来島海峡大橋が真下に望め、今治の町並みから高縄半島の山々、東に目を向ければ穏やかな燧灘の向こうに石鎚を中心とした四国山地が望めます。



伯方ビーチ

伯方・大島大橋から見えるヤシの木が立ち並ぶ海水浴場。200mの海浜が2つある「双子ビーチ」と呼ばれる400mの人工海浜です。西に面しているので正面に日が沈みます。隣接する日本最大級の「イルカのふれあい施設」ではイルカとの触れ合い体験が可能です。

イベント・芸能体験

5月



バラ祭りよしうみ

7月



水軍レース

7月



鶴姫まつり

8月



今治市民のまつり おんまく

10月



お供馬の走り込み



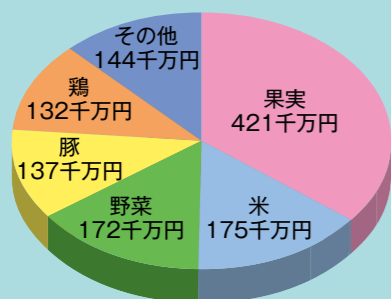
瀬戸内しまなみ海道 国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」

令和元年、第1次「ナショナルサイクルルート」に指定されるなど、日本を代表する世界に誇りうるサイクリングコースである「瀬戸内しまなみ海道」を舞台に、国内外から大勢の参加者を迎えて国際サイクリング大会を開催しています。

温州みかんの栽培、エビなどの養殖が盛ん！

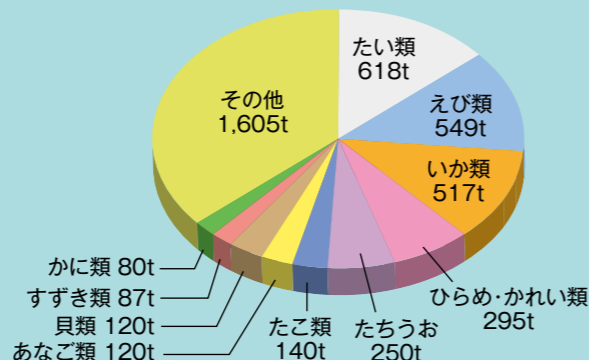
総農家数は2015年2月1日現在4,841戸が存在し、農業就業人口は4,086人で、朝倉地域や玉川地域などで農業が盛んです。主にみかんなどの柑橘類やれんこんなどの野菜、米、裸麦の生産が行われています。果樹では、みかん、いよかん、梨、白桃。野菜では、乃万大根、鳥生れんこんなどが有名。また、漁業においては真鯛、アコウ、ガザミ、ひじきなどがよく獲れます。

農業産出額の内訳



平成30年市町村別農業産出額(統計)

海面漁業の魚種別漁獲量の内訳



平成30年海面漁業生産統計調査

今治地域特産の農水産物を活用した特産品開発プロジェクト

しまなみ海道を有する今治市は、豊かな瀬戸内海の恵みがいっぱい！目の前の来島海峡からは、身の引き締まった旨味ののった魚が揚がり、島々ではみかんをはじめとしたフルーツや農産物が収穫されます。古くから愛されている銘菓も数多く作られています。



みかん

愛媛といえばみかん！今治、しまなみ海道のみかんは、島みかんと呼ばれそのおいしさで知られています。近年、次々と新しい品種のみかんが作られており、より甘くより食べやすいみかんが人気となっています。



海産物

今治地方で獲れる魚介類は、国内でも最高のおいしさだと定評があり、それを使った多種多様な加工品も今治の名物として知られています。



かまぼこ

港近くの商店街を中心に、今治にはたくさんの蒲鉾店があります。名物「すまぎ」をはじめ様々な種類の蒲鉾が作られており、観光客はもちろん、地元の方にも大人気です。



銘菓

今治には、200年の歴史を持つ鶏卵饅頭をはじめ、いくつかの有名銘菓があります。伝統のお菓子は、時代を経て愛され続けています。



地産地消！「さいさいきて屋」

1.6ヘクタールの敷地面積に500坪あまりの直売所とその直売所に持ち込まれた農林水産物を使った料理が食べられる食堂・カフェが併設されています。また、直売所には、地元で水揚げされた魚介類の販売所も常設されています。さいさいきて屋では、持ち込まれた農林水産物の売れ残りが日本一少ない直売所を目指しており、直売所に持ち込まれた農産物を乾燥粉末やペースト加工にして、様々な商品を開発して販売しています。

FC今治



提供：FC今治 撮影：川澄・小林研二写真事務所

Jリーグに所属するサッカークラブ「FC今治」は、サッカー以外にも様々な事業に取り組んでいます。

まずサッカー事業では、Jリーグで優勝争いするチーム作りと地域でのサッカーの普及・選手の育成を行っています。そして、教育事業として「しまなみアースランド」「しまなみ野外学校」「Bari Challenge University」などを通じて「次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創り」の実現を目指しています。



©FC.IMABARI



©FC.IMABARI



©FC.IMABARI



©FC.IMABARI



©FC.IMABARI